

## 事業概要シート

施策	0301	歴史・文化の保護・活用・継承	<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	歴史資料館整備事業	その他の見直し	予算額 0 千円 << 0 >>千円
事業期間	令和6年度 ~ 令和12年度		財源内訳
根拠法令要綱等	博物館法 大村市歴史資料館条例		
			国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 0 千円

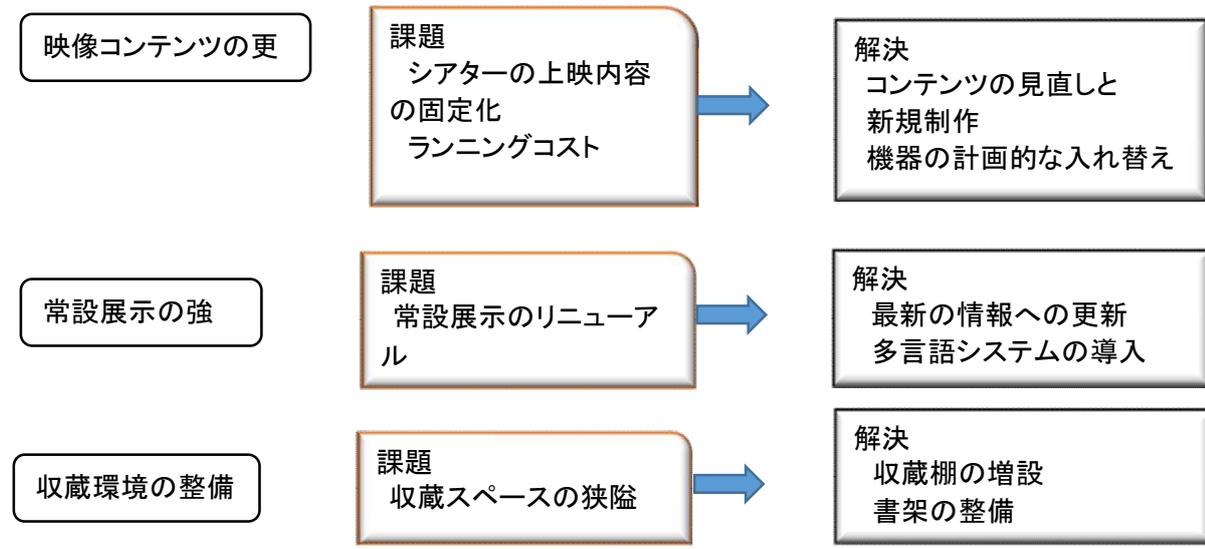
**【事業の目的・概要・対象】**

**目的**  
 コンテンツやHPの改修を行うことで、魅力ある情報発信を行い、大村の魅力を伝える歴史資料館の機能を充実を図る。また、展示室や収蔵庫の環境整備も行う。

**【内容】**  
 歴史資料館のコンテンツ、映像機器の更新、HPでの情報発信の強化を行う。

- シアターコンテンツの制作  
 開館以来2コンテンツを上映しているが、これを見直し、新規コンテンツを制作する。
- 映像機器の更新  
 設置から5年を経過するため、耐用年数や新規コンテンツの導入状況を勘案し、更新を行っていく。
- リニューアルしたHPでの情報発信  
 独自サーバによる新しいHPにおいて、収蔵資料や展示会の情報発信を強化する。（令和6年度完了）
- 常設展示の強化  
 常設展示のリニューアル及び展示開設の多言語化を行う。
- 収蔵環境の強化  
 収蔵スペースが不足してきていることから、効率的なスペース確保を行うため、棚の増設等を行う。

魅力ある歴史資料館を目指して



**【背景】**

歴史資料館シアターコンツについて、現在、映画とデジタルコンテンツの2つで運用しているが、新たなコンテンツの導入など見直しが求められており、市議会にも令和6年度から8年度を目途に見直しと説明している。シアターや展示室の映像機器も、設置から5年が経過することもあり、耐用年数も勘案し計画的に更新していく必要がある。

HPでは、収蔵資料データの管理・更新を継続して行い、展示会や所蔵資料などの情報発信を強化していく。常設展示では、情報の更新や多言語化を行い、魅力ある展示を多くの人に見てもらう必要がある。

担当課	文化振興課（歴史資料館）	課長	今村 明
担当者	山下 和秀	問合せ先	歴史資料館 48-5050

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	コンテンツ制作本数	計画値 本	0	0	0	1	0
②	データ移管	計画値 %	100				

### 【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	シアター入場者数	計画値 人	23,167	25,000	25,000	25,000	25,000
②	事業進捗率	計画値 %	4	4	6	59	79

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	0	3,850	0	0	52,400	20,000	76,250
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		3,850	0	0	52,400	20,000	76,250
人件費	0	3,191	2,909	3,836	4,036	3,836	17,808
職員(人)		0.40人	0.40人	0.50人	0.50人	0.50人	2.30人
時間外勤務(h)		141h	0h	100h	200h	100h	541h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	7,041	2,909	3,836	56,436	23,836	94,058

妥当性 (市の関与)	市の施設のコンテンツやシステムであり、市が行う必要がある。
有効性 (施策貢献度)	魅力あるコンテンツや情報を提供することは、歴史・文化の活用や継承に有効である。
効率性 (コスト)	今後、機器の耐用年数等を踏まえつつ、全体の交換計画を精査して、コストの平準化を検討していく。

1次評価	歴史資料館のコンテンツや環境を充実していくことは、歴史・文化の継承や地域学習に必要であり、継続して取り組む必要がある。
2次評価	1次評価のとおり